

東奥信用金庫

地域内企業の業況レポート

No. 121
2023年4～6月期

本レポートは、情報提供のみを目的とした当金庫の意見です。

当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこの資料は作成されていますが、この情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

〒036-8182 弘前市大字土手町81
TEL 0172-33-8404 業務部 -2023.7.31-
HP <http://www.shinkin.co.jp/toshin/>

《今回調査のポイント》

● 4～6月期（今期）業況判断DI値 全項目で改善

4～6月期の業況判断DI値は、前回調査比26.1ポイント上昇の3.1と改善し、前回予想(▲2.4)を5.5ポイント上回る結果となった。項目別では、売上・受注で35.0ポイント上昇の18.2、売上数量が36.1ポイント上昇の17.9、利益でも30.6ポイント上昇の4.5と全項目で改善となった。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類された影響により日常生活がコロナ禍前に戻りつつあり、各業種とも回復基調となった。しかしながら「エネルギー価格の高騰」や「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が継続していることにより、利益確保については各企業とも価格転嫁や経費削減等に努力している結果となった。



業況お天気図

● 7～9月期（来期）各項目別DI値 やや悪化を見込む

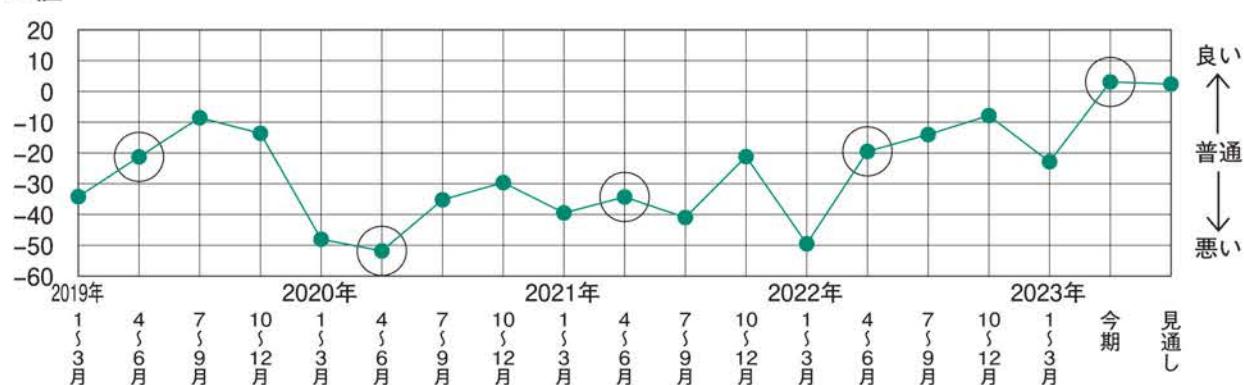
7～9月期の見通し業況判断DI値は、今回調査比0.7ポイント低下の2.4とやや悪化の予想となった。項目別では、売上・受注で16.5ポイント低下の1.7、売上数量が15.5ポイント低下の2.4、利益でも7.2ポイント低下の▲2.7と全項目で悪化を見込む結果となつた。



業況予想お天気図

DI値

全業種業況判断DI値の推移



お天気図

好調



→ 低調

(お天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。)